

世界のさとうきび、てん菜の栽培地域と砂糖の輸出入の状況



さとうきび、てん菜の世界の産地

さとうきびの主な産地は、南半球のブラジル、オーストラリア、南アフリカや、北半球のインド、タイ、中国の南部（広西チワン族自治区）、メキシコ、グアテマラ、アメリカのフロリダ州、ルイジアナ州などの熱帯、亜熱帯地方です。わが国の鹿児島県南西諸島、沖縄県もこれらと同様の条件下にあります。

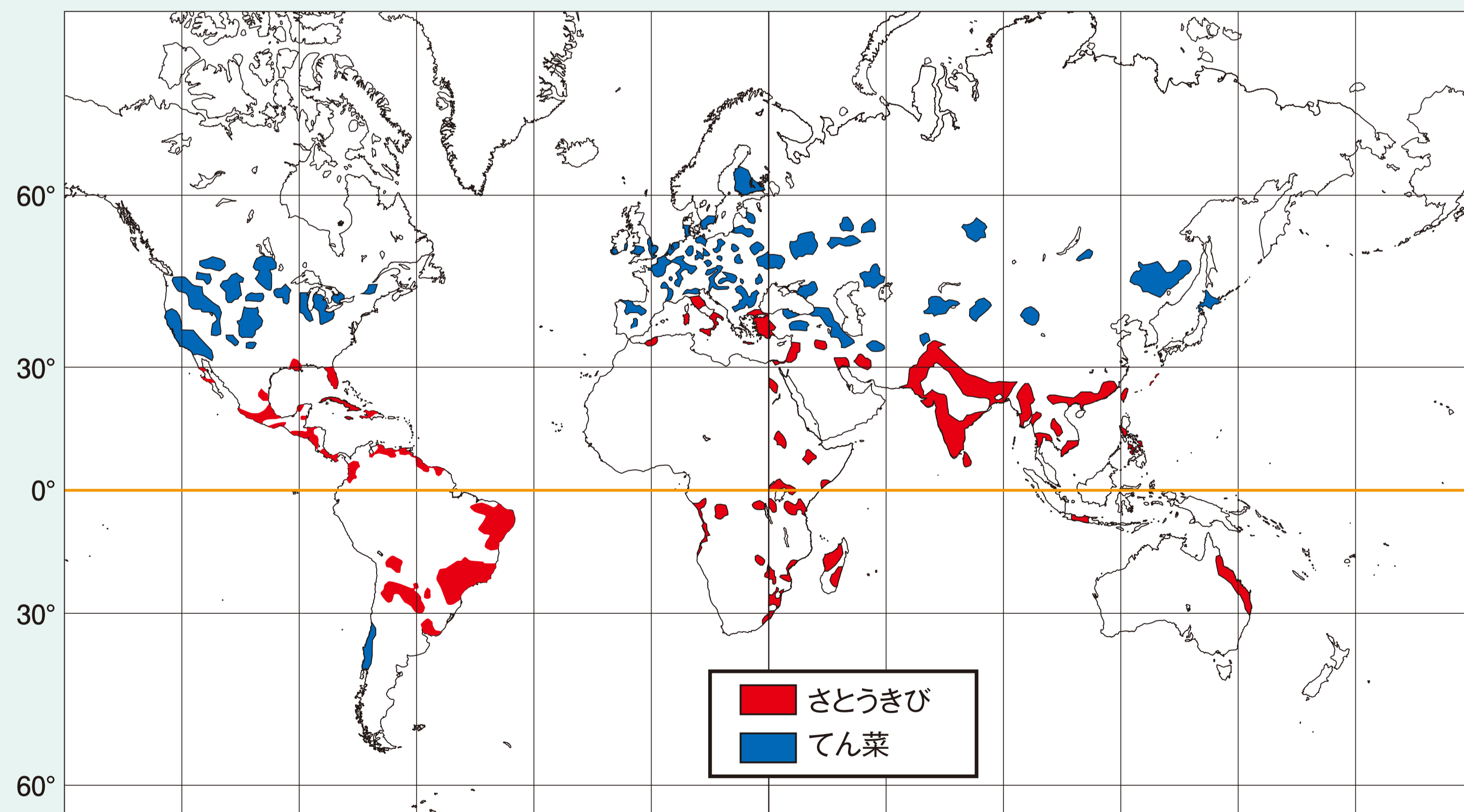


ブラジルのさとうきび畑

てん菜は、EU、ロシア、トルコ、ウクライナ、中国の北部（新疆ウイグル自治区や黒竜江省）、アメリカのコロラド州以北など、わが国の北海道とおおむね同様の緯度や気象条件の下で生産されています。



アメリカのてん菜畑



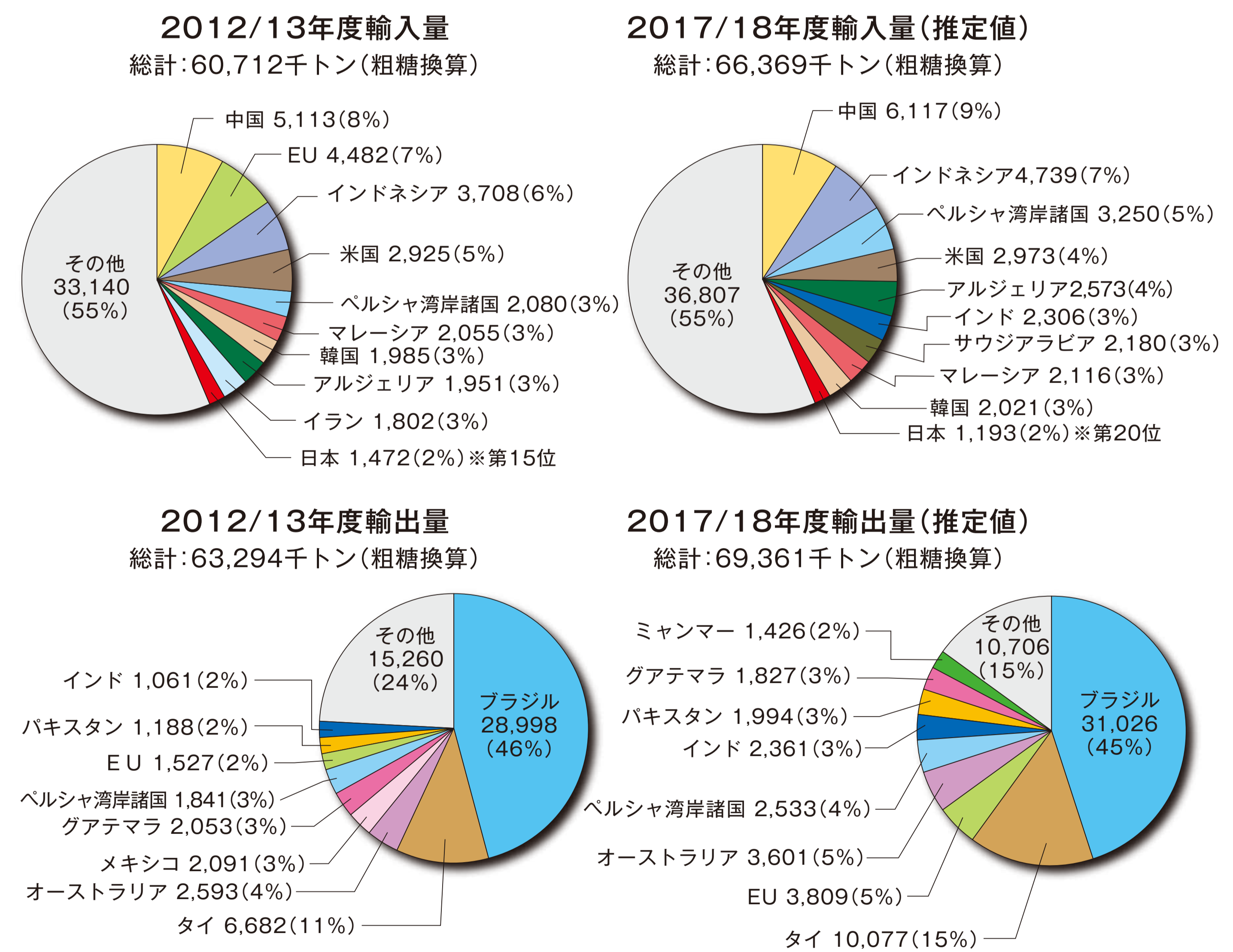
出典：精糖工業会

世界の砂糖輸出入の状況

わが国の砂糖輸入量は、世界の輸入量全体の2%を占めています（世界第20位）。最大の輸入国は中国で全体の9%を占めています。また、インドネシアも輸入量を大きく増加させています。



輸出量に関しては、ブラジルが世界の45%に相当し、2位のタイも15%と、上位の少数の国で大きな割合を占めていることが特徴です。砂糖の国際需給は、これら主要輸出国における天候、他の穀物生産、エタノール等への用途との競合、国内政策の変更などから影響を受けることとなります。



資料：LMC International「Quarterly Statistics Update, March 2019」
 注1：各上位9カ国及び日本（輸入）とその他を表示。
 注2：年度は各国の砂糖年度。
 注3：ベルシャ湾岸諸国の値はアラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、カタール、オマーンの合計。